



図書館員がおすすめる

今月の推し本



一般書

『私が死んだあとも愛する犬を守る本』

富田 園子／著 はしもと みお／絵
磨田 薫／監修 (日東書院本社)



家族の一員として、いつも一緒に過ごしてきた愛犬。
飼い主のもしもは、ふいにやってくるかもしれません。
自身が亡くなったり、病気や新型コロナのような感染症、震災など、
思わぬところで悲しい別れがあるかもしれません。
そんな時に備えて、実務等の手続きや家族に託すことなど、
諸々の対策を元気なうちにしておくためのお役立ち本！
愛猫家の方には『私が死んだあとも愛する猫を守る本』もあります！！

児童書

『ぼくへのレファレンス』

岩崎 まさえ／作 黒須 高嶺／絵 (国土社)



ガチャッ。
やけに大きな音が、廊下にひびいた。
まるで長い間、封じられていたものが、解かれたという感じ。
ここは市民図書館の貴重書庫。
体験学習中のぼくたちを館長さんが特別に案内してくれるらしい。
ここで、江戸時代の古文書^{こもんじょ}を見てからなんだ。
ぼくのまわりで、不思議なことが続くようになったのは。
謎の少年から、「きみに頼みたい」と受けたレファレンス。
メモ用紙には、○に縦の棒3本…。これはいったい何？